

ホタテガイ採苗速報

付着数は西湾230,590個/袋、東湾384,981個/袋

1 ホタテガイの付着状況

5月24日～27日に行った第1回全湾付着稚貝調査結果は、図1および表1(別紙)のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、西湾で230,590個/袋、東湾で384,981個/袋と、いずれも過去10年の平均値(西湾43,693個/袋、東湾142,903個/袋)よりも多くなっています。

稚貝の平均殻長は、西湾で0.93mm、東湾では0.87mmと、いずれも過去10年の平均殻長(それぞれ0.79mm、0.65mm)よりも大きいサイズとなっています。

2 キヌマトイガイ等の付着状況

キヌマトイガイとムラサキイガイの付着数は、全湾平均でそれぞれ194,971個/袋、55,917個/袋と、いずれも過去10年の平均値(それぞれ115,644個/袋、42,667個/袋)よりも多い状況です。

3 ホタテガイラーバ等の出現状況について

5月24日～26日に陸奥湾12定点でラーバ調査を行った結果、ホタテガイラーバの出現数は、西湾平均で336個/トン、東湾平均では905個/トンと、過去10年の同時期の平均値(それぞれ411個/トン、1,883個/トン)よりも少ない状況です。

200ミクロン以上のラーバの割合は西湾平均で49.6%、東湾平均で72.8%、260ミクロン以上の割合は西湾平均で15.0%、東湾平均で41.7%でした。

ヒトデのラーバは全湾平均で3.9個/トンと過去10年の同時期の平均値(5.8個/トン)よりも少ないですが、付着直前のブラキオラリア幼生が全湾平均で0.2個/トンとわずかに見られました。

4 試験採苗器への付着状況

ホタテガイの付着数は、水産総合研究所の久栗坂実験漁場では1,088個/袋(8日間)、川内実験漁場では12,672個/袋(8日間)でした。

5 海況

各ブイの5月21日～27日の平均水温は表2のとおりです。平年と比較すると、平館ブイと青森ブイの15m層ではなはだ高め、東湾ブイの15m層でかなり高めとなっています。

6 今後の見込み

ホタテガイの付着数が多い所では間引きが必要です。

付着数が非常に多い採苗器は、稚貝の成長が悪くなり、稚貝採取が大幅に遅れる可能性があるため、目で見えるサイズ(殻長1～2mm)になったら間引きを開始してください。

早い所で西湾では6月上旬、東湾では6月中旬から殻長1～2mmサイズで間引きができる見込みです。

西湾の間引きの状況や東湾の間引きの時期については、6月8日に臨時付着稚貝調査(中層1袋)を実施して6月11日発行予定の採苗速報第11号に情報を掲載しますので参考にしてください。

※袋替えおよび間引き作業の注意点

- ・採苗器の状況を十分に把握する(稚貝の付着数は地域、垂下水深、投入時期等によって異なる)。
- ・稚貝へのショックは出来るだけ少なくする(間引きを行う場合は、流網などの付着基質を上下に振るだけにして船べり等に叩き付けない)。
- ・採苗器へ残す稚貝の数を自分の目で確認しながら適正にする(2万個程度になるように)。
- ・作業後は、施設を安定させる。

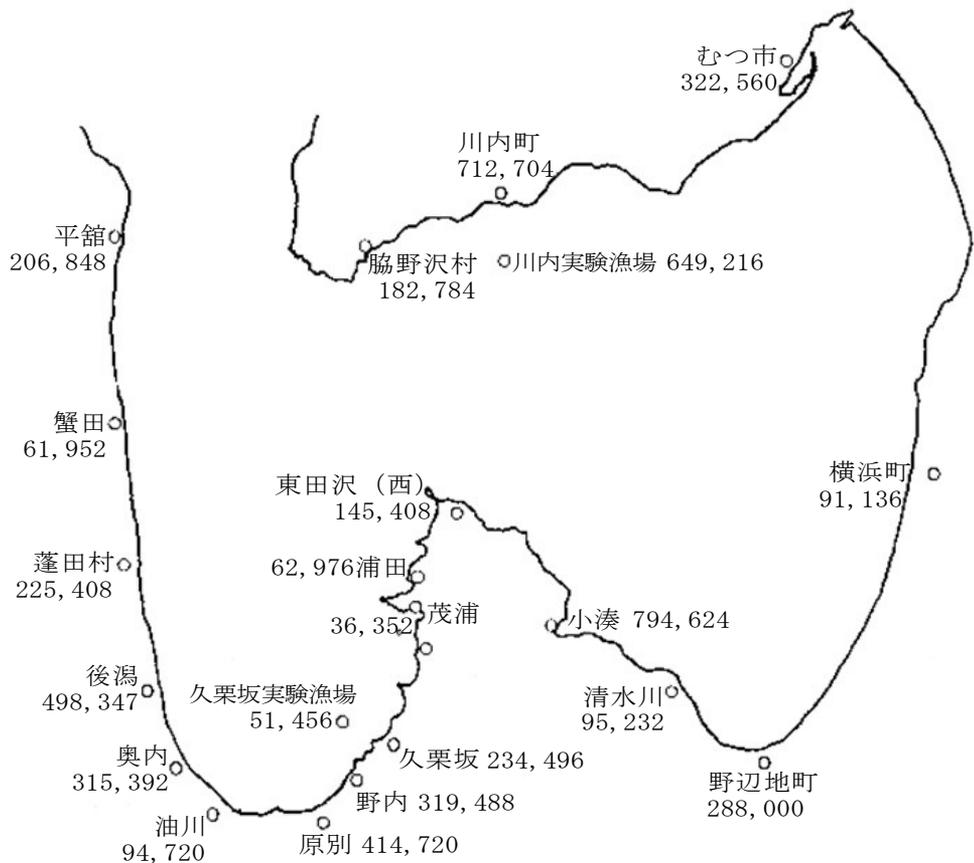


図1 漁協、支所別のホタテガイ付着数(個/袋)

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	11.9～13.5	東田沢ブイ	12.3～13.2
奥内ブイ	12.0～13.5	野辺地ブイ	12.3～13.4
青森ブイ	11.1～13.6	東湾ブイ	9.3～12.8
		浜奥内ブイ	12.2～13.4
		川内ブイ	12.1～12.4

